

金城学院幼稚園

2024年度

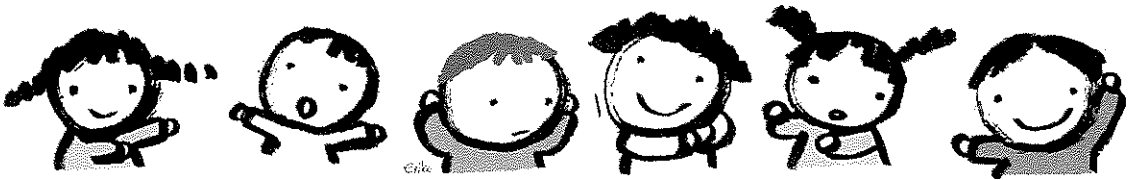
クリスマス特集

No. 4

# こどもニュース

No. 17

12.19 発行



## 【本当のクリスマス】

クリスマスおめでとうございます!

2000 年以上前、ユダヤの人々が「待つ、待つ、待ち望み」ようやく迎えた最初のクリスマスは大きな喜びに包まれたものでしたが、電飾などの華やかさも豪華さもない、暖房さえもない寒い馬小屋で、とっても静かなものだったのではないのでしょうか。

日が落ちると急に寒くなり、電気がないから真っ暗です。その分、空の星が瞬くのがはっきりと見えたことでしょう。風がサワサワと草をなでる音、ときおり羊が鳴き、また静かになります。そんな静寂の中、イエス様は生まれたのでしょうか。

弱い人間の罪を全て背負い十字架にかかるために生まれてきてくださったイエス様の誕生、そのイエス様を与えてくださった神様に感謝する本当のクリスマス。深い喜びは、時には静かに身体の奥底から立ち上がってくることがあるように思います。

様々な状況に一喜一憂し、振り回されてしまう私達はとても弱い存在ですが、神様はいつも変わらずそばにいてくださいます。そのことを覚え、本当のクリスマスを共に喜びましょう。

## 【待つことの意味】

一か月にわたるアドベントの期間をご一緒に過ごさせていただきました。多くの準備とクリスマスを迎える喜び。保護者の皆さまに心から感謝いたします。父母の会を通してのクリスマス準備、証の会、聖書を読む会、賛美の会、クリスマス讃美歌練習、園芸の会のリース飾り、青空手話の会の学び、くるみスタッフ、また様々な保育の場面でのお手伝い父さん母

さん、そして6日には驚くほど多くの保護者の皆様が寒い中、落ち葉掃きなどのご奉仕をしてくださいました。こういった保護者の皆様のお働きは、50年という長い園の歴史の中で脈々と受け継がれていることですが、どの活動も始まりは歴代の保護者の皆様の「園と共にやりたい!」というお気持ちから始まり、動いてくださった業。

毎年の様に書いていますが、この園は皆様に支えられている幸いに包まれていると実感しています。本当に感謝いたします。

こども達も合同礼拝で4本のろうそくに一本ずつ灯が灯されるのを見てきました。何度も書きましたが1週間で1本、というスピードは現代社会の中ではなんとゆっくりに感じられることでしょう。普段の生活ではそのような時間の区切りで何かを待つことは少ないのではないかと思います。だからこそ、こども達は礼拝の度に灯されるろうそくの明かりを「今日は2本」「今日は3本だね」と固唾をのんでじっと見ていました。1本、1本と増えていくろうそくの明かりを黙って見つめるその姿に2000年以上前のユダヤの人々が救い主の誕生を「待ち望む」姿が重なります。

幸いなことに現代に生きる私達は当時のユダヤの人々がいつ生まれてくるのか知らなかった救い主イエス様のお誕生を知っています。そのことに感謝してクリスマスを迎えたいと思います。

## 【贈る喜びを感じる「クリスマス」プレゼント】

クリスマスからお正月へと、この時期「もらう」ことの多いこども達ですが、園では大好きな人に心をこめて贈る喜びを知ってほしいと考え、おうちの人へのプレゼントを作りました。心をこめて作ってきた過程はそれぞれの学年のあつまりの記事をお読みください。大好きな人に喜んでいただける幸せを経験できる時となりますように。

## 【2学期もありがとうございました!】

この時期、各教会ではクリスマス礼拝やお祝いの会を行います。様々な工夫をし喜びを分かち合う準備を進めている教会もあります。この機会に是非お近くやお友達の通う教会をお訪ね下さい。

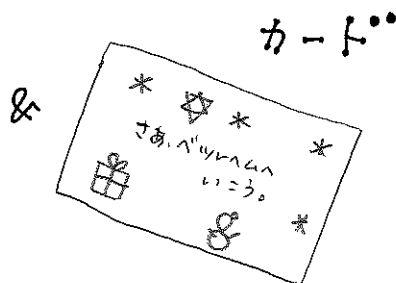
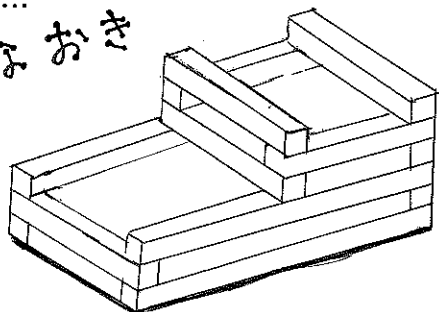
2学期を皆様と歩ませていただいたこと、お支えいただいたことに心からお礼を申し上げます。皆様の年末年始が神様の祝福に満たされた温かな時間となりますようお祈りいたします。

児玉 芽  99

# 年長 あつまり

年長さんからは…

いろいろおき



☆やすりがけは大変…

せっかくのプレゼント、おうちの人ケガをしないように、やすり掛けをしてから組み立てています。年中の時にはやすりがけを経験している子どもたちなので、どこにやすりを当てると良いか分かっている子が多かったように思います。

また、やすりがけの期限を設け、「〇〇日までに全部のやすりがけを終わらせておいてね」と伝えていました。来年度には就学を迎える年長さん、これからは、“やらなくてはならないこと”に向き合う機会は多くなるでしょう。やりたいことを思いっきり楽しむためにも、自分で「今日はやすりがけを頑張る日」「一日〇本ずつやる」と生活の見通しをもって、計画を立てていく経験をしてほしいという保育者の願いが込められています。さて、期限の日、やすりがけが終わっていたのは…なんと半数ほどでした！(懇談会で「いろいろ“できる”年長さん！」とお伝えしましたが…アレ?) 今後も自分で見通しをもって、計画を立てる経験ができる機会を設けていきたいと思います。

☆どの木をどう組み合わせる？

今回のプレゼントは木を使い、立体に組み立てることに挑戦してほしいというねらいがありました。長い木、短い木、板をどのように組み合わせたら見本と同じ形になるのか…よく見て分かる力はさすが年長さん。一度組み立ててみて、「ここここがくつつくから…」と接地面を考えてボンドを付けていく表情は真剣そのものでした。

## ☆“クリスマス”カード

カードを描くにあたって、「今回のカードにはどんな絵や文字が良いと思う?」と子どもたちにたずねてみました。

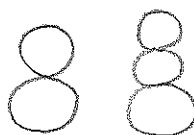
「ツリー」



「おうち」



「ゆきだるま」



「ほし」



などたくさんアイデアが出てきました。今まで「○△□の形を使って描いてみよう!」と繰り返し経験してきたことが積み重なり、子どもたちのなかで自信となっていることを実感しました。「おうちには窓もドアもあるよね」「クリスマスだからサンタも」「プレゼントも□で描ける」とそれぞれの“クリスマス”への思いが詰まったカードができました。

## ☆「いろんなおき」って?

保育者から「次のあつまりでプレゼントの名前を決めるから、考えてきてね!」という宿題を伝えました。よく覚えていた子どもたち、多くの子が手を挙げていろいろな名前を出してくれました。「いろんなおき」「いっぱい入れ」「木の2段ケース」「道具入れ」などなど…他にも「消しゴムと鉛筆入れ」「鍵入れ」「定規入れ」など具体的な物の名前が付いたものや、「どんぐり入れ」「レゴ入れ」「スーパーボール入れ」など、自分が使うつもりかな?というようなアイデアも出ていました。その中で“自分たちが考えたものが何でも入れられる名前にしよう”と話し合い、「いろんなおき」に決定。おうちで子どもたちと何を入れて、どう使うか、是非一緒に相談しながら使ってみてください♪



# 年中あつまり

年中さんからのクリスマスプレゼントは…

## おぼん& デカルコマニーカード です♡

### ☆プレゼントを贈る喜び☆

「イエスさま」というプレゼントを神さまからいただいたクリスマスの日の出来事について、お話をたくさん聞いた子どもたち。私たちも大好きな人のために心を込めて贈り物をしようと話をしました。「プレゼントは内緒なの?」「秘密にした方が驚くよ!」と、子どもたちは作る前から渡すときのシチュエーションを想像し、ワクワクしちゃっていてなんとも可愛い♡大好きな人に贈る喜びを胸いっぱい秘めながら、プレゼントを作り上げた過程をお伝えします。



### ☆デカルコマニーって楽しい☆

デカルコマニーって知っていますか? 半分に折った画用紙を開いて片側に絵の具を乗せ、再度紙を折って転写させる技法です。出来上がる模様や色の混ざり合いが面白く、ワクワクするんです。すでにあつまりの中で経験済みのデカルコマニーは、子どもたちに大人気。デカルコマニーでクリスマスツリーのカードを作ることを伝えると、「早くやりたい!!」という声があがるほど。早速作ってみると、思いもよらない不思議な模様に「きれいにできた♪」「いい感じ♡」などと歓声を上げながら楽しんでいました。自分たちでツリーを切り、台紙に貼り、ツリーの周りには、好きな絵も描きましたよ。△と▽を合わせて星の形を作ったり、+と×を合わせて雪の結晶の形を作ったり。可愛いクリスマスカードが完成しました。



### ☆やすりがけに再挑戦! ☆

家族の日のメモスタンド作りで経験済みのやすりがけ。おぼん作りもまずはやすりがけからスタート。今回は4本の棒材と板1枚。「やすりがけ、かんた〜ん」「すぐできるよねーっ」なんて自信满满だった子も、前回とは異なる数の多さに段々と口数が減り…手が止まってしまった子も。やすりがけは、すぐにはツルツルになりません。じっくり取り組む根気が必要です。子どもたちが「できた!」という達成感を味わうことができるよう、棒材に薄く黄色い印をつけました。上手に削ることができると、黄色い印が消えていきます。角がツルツルになると、

「これでケガしないね」とおうちの方を思いやる優しい言葉も。棒材にちょっぴり残っている黄色の跡は、子どもたちが葛藤しながらも一生懸命削った証です。

### ☆ボンドを使って枠づくり☆

やすりがけの次は、ボンドつけです。『棒の接着面を確認し、どこの部分にボンドをつけるべきか考える』『棒が板からはみ出さないように端と端を合わせる』というのが、ボンドつけのポイント。ほとんどの子が自分で考え、しっかりと枠を作ることができました。上から見たり、横から見たり、はみ出していないか確認する目は真剣でしたよ。

### ☆釘打ちに初挑戦!!☆

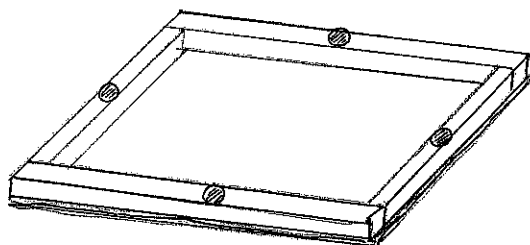
釘打ちは、初挑戦です。トントンコーナーで経験している子もいましたが、金づちの扱い方などを説明してから作りました。力の入れ方が上手で、ササッと4本打ち込んでしまえる子もいれば、1本打つのに10分以上かかった子も。初めて釘打ちする子にとっては、釘を指でしっかりと支えながら、狙いを定めて金づちで打つことがとっても難しいのです。自分の指に金づちが当たらないかドキドキして、恐る恐るそーっと打っている子、釘から指を離して打ってしまい、何度も釘が斜めになってしまう子など、様々な姿がみられました。失敗しても、何度もやり直して時間がかかっても、「おうちの人のために素敵なおぼんを完成させたい!」という子どもたちの想いは変わりません。「できないからやめる」と諦めた子は一人もいませんでした。おぼんを裏返してみてください。何度も釘を抜いた跡や金づちの跡に、最後までやり遂げた熱い思いが詰まっています。

### ☆おしゃれなワンポイントをつけて完成☆

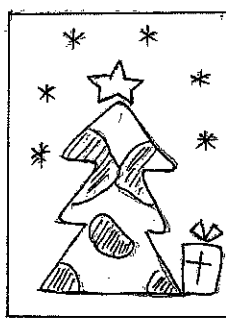
おぼんが完成すると、子どもたちは達成感に満ち溢れたとても良い表情をしていました。見通しを持ち、時間をかけて作り上げることができるようになった年中さん。パパッとすぐに完成するのではなく、いくつもの過程を経て1つの物が出来上がる喜びをひとりひとりが感じてくれていたらいいいと思います。

子どもたちの中には、素敵なおぼんを早くプレゼントしたくて、聖歌隊のハレルヤで集まるたびに、「おぼん、渡すのは明日?」「おぼんができたのに、何であげないの?」と聞いてくる子がいました。おうちの人に早く喜んでもらいたいという思いが、ビシビシ伝わってきます。

子どもたちには、「おぼんを使ってお皿を運んだり、お手伝いもしてね。」と伝えました。家族の一員としての役割を担うことも、子どもたちの喜びや成長に繋がっていくのではないかと思います。是非お子さんに、「お手伝いお願いね」「ありがとう」と声をかけてあげてください。おぼんが大活躍する冬休みとなりますように。



6.



(Rina)



\*

\*



# 年少あつまり

\*



\*

\*

\*

年少さんからのクリスマスプレゼントは、

## オーナメント & クリスマスカード です☆

【大切な人にプレゼントをあげよう!】

年少さんのあつまりやハレルヤの中で、聖書のお話を通して、クリスマスがイエスさまの誕生日であることや、イエスさまは神さまからのプレゼントであることを伝えました。そこで、

「みんなはたいせつなひと、だいすきなひとっている?」と聞いてみると…

「おにいちゃんかなあ〜」

「ママとパパ!」

「〇〇ちゃん(お友だちの名前)」

と教えてくれました♡

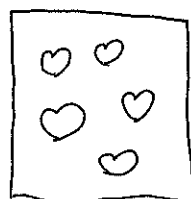
それじゃあ、みんなが大好きなおうちの人たちにプレゼントを作って渡そう!と伝えると

「やったあ!」「つくりたい!」と大喜びな子どもたちでした♪

## ♪ 折り紙ベルのクリスマスカード ♪

今年の年少さんは、折り紙がとっても上手!2学期の年少あつまりで、何回か折り紙を経験しましたが、保育者の説明を聞きながら、じっくり丁寧に折る姿が印象的でした。クリスマスプレゼントでは、少し難しい《ベル》の折り方に挑戦!金色、銀色のどちらか好きな方を選び、説明を聞きながら一生懸命折りました。「ええ、、わからないよ、、」と困っているお友だちに「おしえてあげるよ!ここをこうしてね…」と、周りの子が教えてあげる姿もあり、子どもたちの成長を感じました♪

クリスマスカードには、サインペンで好きな絵を描きました。描く前に「○を二つ重ねるとゆきだるまになったり、△をかさねると、ツリーになるね!」と少し描く時のヒントを伝えました。かわいい雪だるまやツリー、プレゼントなど、クリスマスの絵を描いて楽しむ子もいれば、ドーナツを描いたり、大好きなおうちの人顔を描いたり、ハートをたくさん描いたり……♡とっても素敵なクリスマスカードになりました!





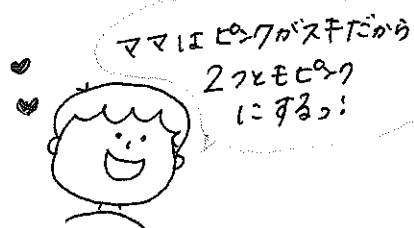
## 紙粘土のオーナメント



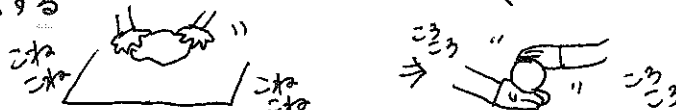
1学期から年少あつまりのコーナー遊びで、子どもたちが喜んでいたので粘土遊びのコーナーです。指先を使い、粘土をほそなが〜くしてへびやパンを作ったり、2学期になると泥だんごづくりを楽しんでいる子が増えたからか、粘土でおだんごを作っている子もいました。ただ、型抜きはあまりしている子がない・・・?となり、クリスマスプレゼントでは、型抜きに挑戦しました♪

～こんな風に作りました～

- ① ピンク色、黄色、青色から好きな色を2種類選ぶ



- ② 粘土をこねこね〜丸くする



- ③ 手のひらでぺた〜っと押して粘土を平らに



- ④ 好きな型を選んで、粘土の上からぎゅっ!

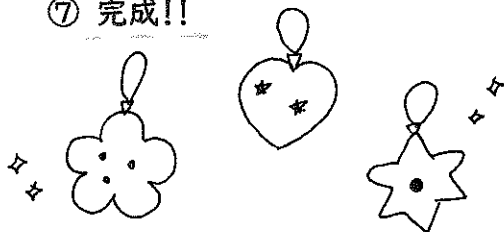


- ⑤ 周りの粘土を取って、指で押す

- ⑥ ビーズで飾り付け



- ⑦ 完成!!

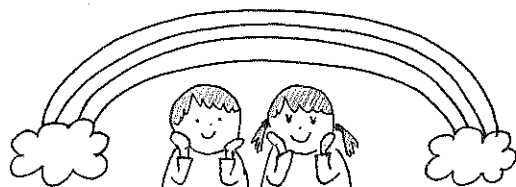


ボンドの量が少し多くて、白さが残っていたり、少し粘土にヒビが入っていたりするものもありますが、こどもたちが一生懸命作った“味”として、受け取ってもらえると嬉しいです♪

型を取って形ができた時の「うわあ〜!すごい!」という反応が、とってもかわいかったです! プレゼント作りで初めて型抜きを経験した子もいました。その後から、遊びの時間にも「粘土したい!」「型抜きやりたい!」という声があり、あつまりでの経験が、遊びに繋がっていることを嬉しく感じました。

年少さんが想いを込めて作ったオーナメント、ぜひおうちにかざってください★

にじぐみさんからのプレゼントは



松ぼっくりのクリスマスツリー&天使のクリスマスカードです♡

にじぐみさんに「クリスマスは、神様がわたしたちにイエス様をプレゼントしてくださった日なんだよ」とお話をし、プレゼントについて尋ねてみました。「プレゼントはみんなもお誕生日とかにもらったことはあると思うけど、あげたことはあるかなあ？」と聞くと「お菓子あげたことあるよ!」と自信満々に教えてくれる子がいましたが、ほとんど子は「プレゼント…?」ときょとんしていました。普段の園生活のなかでも、製作したものを「ママにプレゼント♡」と嬉しそうにリュックに入れていますが、「クリスマスプレゼントを作って、おうちの人にプレゼントしよう♪」と言うと、まるで初めてあげるようなワクワクした表情をしていました。

### ☆松ぼっくりのクリスマスツリー☆

立派な松ぼっくりをもらったので、クリスマスツリーにすることにしました。飾りには、みなでおさんぽに行った時に拾ったどんぐりや小さな松ぼっくり、カイヅカイブキ、綿、ビーズ(1人4個)を使いました。そして土台には紙粘土とどんぐりをカップに詰めました。

まず、紙粘土とどんぐりをカップに詰めて土台を作ったのですが、綺麗に丸めて入れる子、細長くして「へびみたい〜!」と楽しんでいた子、「紙粘土どんぐり♪」とどんぐりの形にしてみたり、ぎゅっとつめたりと、土台にもそれぞれ個性がでていています♪

松ぼっくりのツリーの飾りつけは1人ずつ行っただのですが、みんな真剣な表情で、上手にボンドを使い飾り付けをしていました。「もっと綿がほしい〜!」「たくさんだから大変だなあ…」「なんか可愛くなってきたね♡」なんておしゃべりもしながら楽しんで作ることができました。ビーズをなかなか付けずにいる子に「ビーズも付けると可愛くなるよ!」と言うと、ビーズを手を持ち見せてくれたあと、どんぐりに持ち替えて「こっちがいい♪」とアピールしてくれました。子どもたちなりに、つもりがあるみたいです(\*へへ\*)

どの子も満足のいくまで飾り付けをして、とっても素敵なツリーになりました。



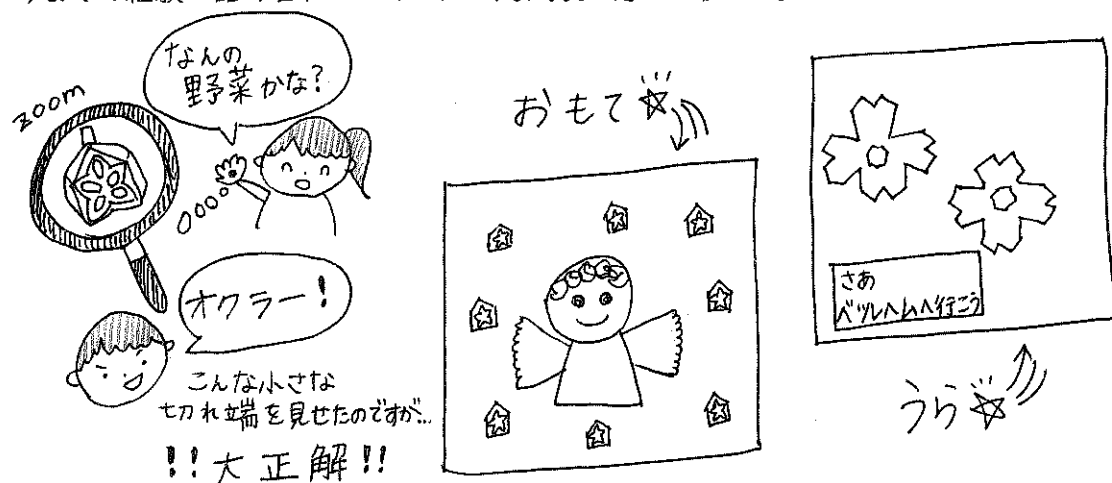
## ☆天使のクリスマスカード☆

天使の身体は、今までも何度も経験してきた糊を使い、画用紙に貼りました。天使の羽はレースペーパーを使ったので、ちょっぴり糊が塗りにくそうでしたが、レースペーパーが破れないように丁寧に塗りました。そして天使の顔はサインペンで描きました。サインペンの使い方も、初めはサインペンの上の方を持って描きづらそうにしていたのですが、経験を重ねるうちにペン先の方を握って描けるようになってきたり、小さな丸の中に顔を描ける様になったりと、サインペンの使い方も少しずつ上手になってきました。

また天使の周りにはオクラのスタンプをしました。スタンプをする前に「今日はお野菜でスタンプをするんだけど、なんの野菜かわかるかな?」と、切ったオクラを見せて聞くと「オクラ!」と答えてくれて、まさかそんなにすぐに正解がでるなんてと驚きました。ご家庭でも、いろいろな野菜を見たり、触れたりしているんですね♪オクラのスタンプは星のような形になるので、子どもたちもおもしろかったようです。

裏面には、切り紙と12月の聖句をのせています。切り紙は折り紙の4分の1のサイズで小さかったのですが、あつまりの時間に普通の折り紙のサイズで経験したこともあって、3回三角に折ってからハサミで切るのも、折り紙がバラバラになることなく上手にできました。

今までの経験の詰め合わせのカードです。成長を感じて嬉しく思いました。



子どもたちからの初めてのクリスマスプレゼントかと思います。おうちの人にあげるまで「ひ・み・つ♡」にして、びっくりさせちゃおうねと話をして一生懸命作りました。降園時間に「ヒミツのやつ作った!」なんて報告している声も聞こえてきましたが、プレゼントを作ったのが嬉しく、渡すのを楽しみにしているのが伝わってきて、心が温まりました。

お家のよく見える場所に飾って、クリスマスを楽しみにご家族で迎えていただけたらと思います。

Chiaki